



令和5年中の高齢者死亡事故の特徴

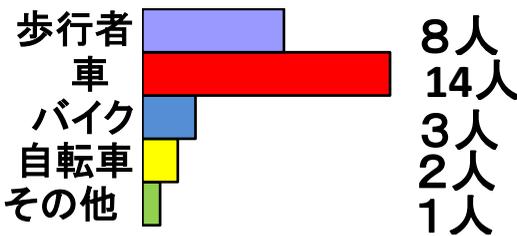
鹿児島県警察本部交通企画課

1 発生件数・死者数

	全体		高齢者		
	発生件数	死者数	発生件数	死者数	死者数構成率
令和5年	39	40	28	28	70%
令和4年	40	42	23	24	約57%
対前年比	-1	-2	+5	+4	

- 令和5年中、高齢者の死亡事故発生件数、死者数ともに増加した。
- 全交通事故死者数の70%が高齢者であった。
- 平成15年から21年連続で全交通事故死者数の過半数を高齢者が占める。

2 状態別死者数



その他: 動力運搬車を運転中

3 高齢者死亡事故詳細

○ 昼夜別の死者状況

昼	24人
夜	4人
計	28人

○ 歩行中死者数・夜光反射材着用状況



歩行中死者	昼間	5	反射材	着用	0
	夜間	3		非着用	3

○ 横断歩行中の相手車両の進行方向



歩行者から見て右から来た車	2
歩行者から見て左から来た車	3

歩行者の方へ

- 夜間や早朝など暗い時間帯の外出は控え、やむを得ず外出する際は、必ず夜光反射材を着用しましょう。
- 近くに横断歩道がある場合は横断歩道を渡りましょう。
- 横断する際は、右、左を確認し、道路の中央付近でもう一度左の安全を確認して横断しましょう。
- 車両の直前直後の横断はやめましょう。

運転する方へ

- 補償運転により、運転環境を整えて、ゆとりのある運転に努めましょう。
補償運転とは、運転者自身が「より安全な運転環境」を選択して運転することで、交通事故の危険を少なくする運転方法をいいます。
- 先進安全技術搭載の「安全運転サポート車」への乗り換えを検討してみましょう。
- 交通事故の被害軽減のため、発進前に必ずシートベルトを着用しましょう。